

■ コミュニティバス利用者、非利用者アンケート調査概要

1 実施手法

	利用者アンケート	非利用者アンケート
① 調査対象	月曜日から日曜日まで1週間のコミュニティバス利用者	主な公共施設、商業施設利用者でコミュニティバス非利用者
② 対象者数	利用者全員	413人
③ 実施手法	個別面接聴取法（アンケート用紙を配布した上での聞き取り調査）	
④ 調査期間	平成25年3月21日（木）～ 3月28日（木）	平成25年3月23日（土）～ 3月28日（木）
⑤ 前回実施年月	平成24年1月	

2 主な調査結果（単純集計：上位のみ掲載）

【利用者アンケート 回答総数：297（前回調査161）】

① 利用者の属性、利用目的

前回調査と比較して、大きな変化は見られず、高齢者や主婦層による買物利用が多い。

○性別	今回調査	前回調査
男性	19.9%	19.9%
女性	77.1%	78.9%

○職業	今回調査	前回調査
無職	45.1%	68.3%
家事従事者	23.2%	11.8%
小・中学生	4.7%	0%
パート等	3.0%	8.7%

○年代	今回調査	前回調査
70歳代	24.1%	41.0%
80歳以上	24.1%	19.9%
60歳代	15.6%	19.2%
50歳代	7.8%	8.7%
30歳代	6.2%	4.3%
10歳代	4.9%	0.6%

○利用目的	今回調査	前回調査
買物	39.4%	44.2%
その他	26.3%	30.1%
公共施設利用	19.9%	13.5%
通院	5.4%	11.0%

② 利用経験について

平成21年9月（旧春日町との合併）以前からの利用者が多い。

平成21年9月（旧春日町との合併）以前から	42.1%
平成21年10月（旧春日町との合併）以後から	20.9%
平成24年7月（ルート・ダイヤ改正）以後から	18.9%

③ 平成24年7月のルート・ダイヤ改正へのご意見

すべてのルートで、変わらないという回答が多い。

	オレンジルート	グリーンルート	サクラルート
便利になった	3.4% (7.0%)	7.7% (31.1%)	12.6% (17.8%)
不便になった	3.4% (46.5%)	19.6% (37.8%)	12.6% (16.4%)
変わらない	59.3% (18.6%)	26.6% (22.2%)	33.7% (32.9%)

() 内は前回調査時

④ 乗り継ぎについて

乗り継ぎができることについては、ある程度の認知がされている。

利用したことがある	13.5%
利用したことがない	59.6%
乗り継ぎができることを知らなかった	5.7%

【非利用者アンケート 回答総数：413】

① あしがるバスの認知度

バスの存在認知度としては、80%以上である。

バス停・行き先・運賃・ダイヤなど、おおよそ知っている	48.9%
自宅の最寄りバス停などは知っているが、行き先・ダイヤなどは知らない	18.2%
以前からバスの存在は知っているが、自宅の最寄りバス停・行き先などは知らない	11.6%
最近（大型車両導入後）、バスの存在を知った。	1.9%
全く知らない	16.5%

② あしがるバスの利用意向

利用方法等のPRなどの工夫が必要である。

利用したい	25.4%
時間等の条件が合えば利用してもよい	30.8%
利用しない	40.9%

【共通】

① 自動車の利用頻度

あしがるバス非利用者は、日常的に自動車を利用している層が多い。

	あしがるバス利用者	非利用者（施設利用者）
自家用車があり、日常的に運転している	4.0%	59.8%
自家用車はあるが、たまにしか運転しない	3.7%	7.7%
自家用車はあるが、日常的に家族の運転に同乗する	10.4%	4.8%
自家用車はあるが、たまに家族の運転に同乗する	8.4%	1.7%
自家用車はあるが、ほとんど利用しない	12.1%	6.5%
自家用車を保有していない	30.6%	16.7%

② 自転車の利用頻度

あしがるバス利用者は、日常的に自転車を利用しない層が多い。

	あしがるバス利用者	非利用者（施設利用者）
よく利用する	21.9%	37.3%
ときどき利用する	15.2%	25.9%
ほとんど利用しない	11.4%	27.6%
乗れない	20.9%	4.1%